



発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322Web <http://www.nposhalom.net>
Email info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

11月9日 開催に向けて準備進行中

ひまわり感謝祭&共に生きる 仲間たちのコンサート

今年の「ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」は、児童養護施設青葉学園の交流ホール（いさごホール）での開催となります。青葉学園は、福島市の西部、吾妻山の裾野に広がる農村地帯の土船地区にあります。土船地区は少子高齢化が急激に進んでいる地区でもあります。この「いさごホール」は、青葉学園の創始者で初代園長の三尾砂（みおしさご）氏に由来するということです。戦後の戦争孤児を守るために東京から疎開し子どもの面倒を見たのが始まりです。しかし、今では入所する子どもたちの大半は、虐待等により親はいながら児童相談所から送られてくる子どもたちです。現代の少子高齢化社会が生み出している課題に正面から取り組んで行く姿勢は施設の伝統のようです。

共生社会づくりの新たな挑戦の場として、地域の人たちに開放し、子ども・障がい者・高齢者が交流し合える「いさごホール」が昨年十一月に完成しました。この趣旨に賛同し、今回の「ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」は、「いさごホール」を会場に行われます。福島でのひまわりプロジェクトは、この土船地区で「土船ひまわりプロジェクト」として開始され、三年目の収穫が終わりました。青葉学園の子どもたち、障がい者施設の仲間たち、地元老人会のみなさん、地域住民のみなさんボランティア、総勢百三十名で植えたひまわりが無事収穫までたどり着くことができました。今年も、大玉村でも「大玉ひまわりプロジェクト」が立ち上がりました。花の咲く時期には夏祭りも開催され地域内の世代間交流・障がい者との交流が自然と行われています。十一月の感謝祭&コンサートは地域のみなさんと祝う「収穫感謝祭」ともなります。

今年も、暑さのせいのか種戻りが早く九月前半から届き始め、十月くらいまで続くものと思われれます。雨と蒸し暑さで、せっかく収穫した種が「カビでだめになった」と言うお便りも多く届いています。保管する場合にも、充分な乾燥と湿気防止が大切です。この全国から戻った種は、ひまわり油「みんなの手」となり、十二月頃にはみなさんにご案内できるものと思われれます。「ひまわり感謝祭」では毎回、会場での展示と全国の活動記録をもとにした動画を制作して、全国で栽培に取り組んでくださっているみなさんの様子をご紹介します。十一月九日の開催まで日数が迫ってきました。活動記録の資料や動画等をご提供いただける場合には、事務局に十月上旬までにご連絡をお願いいたします。楽しかったこと、苦労したこと、仲間との交流、地域との交流、「ひまわりプロジェクト」に参加しての感想、何でも結構です。楽しみにお待ちしております。

ひまわりは、それぞれの地域で多くの人たちに守られ成長していきます。その過程で多くの人たちとの出会い、ひまわりの成長を願う新たな人間関係を創ります。地域を越えて、同じようにひまわりに関わる仲間を繋ぎ「ひまわりプロジェクト」を形作っています。この全国の仲間が作り上げていくひまわりの収穫感謝祭が「ひまわり感謝祭」です。今年も、新たな出会いと感動を夢見てスタッフ一同準備に取りかかっています。みなさんが主役の「ひまわり感謝祭」を共に成功させていきましょう。シャローム。

(T・O)



猛暑、猛暑と言われていた夏も朝晩はすっかり涼しくなってきた。「中秋の名月」と呼ばれる大きな満月が夜空に浮かぶ。九月二十三日は秋分の日、暑さ寒さも彼岸までと言われているが確実に季節は変わっていく。

世界は競い合い、月にロケットを打ち上げ調査を進めている。将来は有人基地を計画していると言われると、それはSFの世界である。様々な新たな発見の話題は、宇宙へのロマンをかき立てる。

月の姿は秋の夜空にポッカリと浮かぶ大きな風船のよう。雲の合間から見えては消える月の光は、雲を裏から照らし出し、夜空を明るく照らす。かぐや姫やうさぎの餅つき、昔の先人たちも、秋の夜空に浮かぶ満月に思いを寄せて、様々な物語を考えたに違いない。

自然の厳しさを通り過ぎて得た秋の恵み、過ぎやすい季節、月の世界に思いを馳せる。そんな世界に生きていることだけでも感謝である。

(T・O)



ひまわりプロジェクト 2024

今年ひまわり栽培を終えて

◆ 福島でも収穫が終わりまし
今年是非常に暑い夏であ
り、その中でもひまわり栽培
管理など大変だったのでは
ないでしょうか。ご協力して
いただいた皆様に感謝申し上
げます。

皆様の地域の種の収穫状況
はどのようになっています
でしょうか。福島では収穫時期
と雨が重なってしまい、カビ
が発生してしまう状況のとこ
ろもありました。ですが少し
遅れて蒔いたひまわりは、雨
を避けて収穫することができ
たのでほっとしています。乾
燥はビニールハウスで行いま
したが、ここでも長雨にあっ
てしまったため、がくから種
を外す作業を早めて行ってい
たできました。

種の実入りもさることなが
ら、収穫後の乾燥が一番重要
だと改めて感じた今年のひま
わり栽培でした。

◆ 今年度の考察と次年度に
向けて

今年の福島でのひまわり栽
培を始めから振り返ってみま
すと、不安要素が何点ありま
した。まずは畑が工事車両
を停める駐車場になり、鉄板
がひかれていたこと。そのた
め、空気が入らず菌が死んで
しまっていたと思われまし
す。トラクターで耕うんしまし
たが、間に合わなかった点が考
えられます。

また砂も撒かれており、耕
うんしても土が締まりやすく、
有機物も少なかつたのが生長
に影響したと考えられます。
現在は草もたくさん生えてお
り、有機物は供給されるので
今後は問題ないのではと思
います。

それから畝幅と株間に関し
てですが、シャロームひまわ
りプロジェクトで使用する、パ
イオニア社の種は、草丈が二
メートル以上にもなります。
畝幅七十cm、株間三十〜四十
cmよりも広くした方が良いの
ではないかと思いました。理
由は風通しを良くし、葉と葉
が重ならないようにするため
です。これらの対策によって
病気や虫の発生を減らし、さ
らに養分の取り合いを防ぐこ
とが期待できます。

◆ 共生社会のシンボル

天候や気温は毎年違い、今
年良かったから来年も同じ方

法が通用するかというところ
でもないのが自然です。ま
た、私は自然農法や有機農業
などの方向性で作物を育てて
いますが、夏場は野菜が草に
埋もれてしまうほどです。ま
さに「有機や無農薬を本当に
やっていくのか」と洗礼を受
けている様な気持ちになりま
す。でもそれはまだまだ自然
を理解していかないからだと感
じています。これらのことを
理解した先にエデンの園とい
う楽園があるのではと考えて
います。

どんな分野でも言えること
だと思いますが、臨界点をむ
かえた時にパラダイムシフト
(価値観などが大きく変わるこ
と) が起こります。ひまわり
プロジェクトは共生社会のシ
ンボルです。ここでの皆さん
との繋がりが、競争社会から
共生社会への変革に寄与する
のではないのでしょうか。この
ように皆さんと喜びを共有で
きることに感謝致します。
(ひまわりPJ 後藤)



2024
入場無料
どなたでも
ご参加ください

第 14 回 ひまわり感謝祭 & 第 28 回 共に生きる仲間たちのコンサート

日時 令和 6 年 11 月 9 日 (土)
● コンサート : 13:00 ~ 15:00
● ひまわり活動展示 : 10:00 ~ 15:00
● ひまわりPJ 製品販売会 : 10:00 ~ 15:00
● 福祉事業所等

会場 児童養護施設 青葉学園
地域交流ホール いさごホール
(福島市土船字新林 24 番地)

**コンサート
ゲストミュージシャン**

渡辺 大輔 さん & **今井 美樹** さん
ケーナ奏者 & 二胡・ピアノ奏者

栽培協力者様の活動・栽培の記録を
募集しております。
お手紙・お写真などをひまわり感謝祭
会場でご紹介させていただきます。
ひまわりプロジェクト実行委員会まで
お寄せください!

〈YouTube〉「ひまわりプロジェクト」紹介動画

視聴はこちらから

2023 ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート
一分かち合い、命かがやいてー
昨年のひまわり感謝祭で上映した動画です。

〈YouTube〉【公式】NPO 法人シャローム

ひまわり感謝祭動画「ひまわりの架け橋」や過去の地
元学動画をご覧いただけます。
チャンネル登録と動画更新通知を ON にすると、最新
のアップロード動画が見やすくなります。

<https://www.youtube.com/@nposhalom>

チャンネル登録
お願いします☆

ひまわりPJのSNS・ブログ

Instagram **ひまわり通信**

活動報告や協力者様
からの便りなどを
紹介、フォローお願
いします!

@shalomhimawari **栽培のコツなど更新中!**

教養講座 地元学を考える

第百四十三回「地元学を考える」
(二〇二四年七月二十日開催)

「方言と民話」

講師 渡部 八重子氏

毎年、八重子さんの民話を楽しみにしております。今年は、特に会場が如春荘というかつての福島大学経済学部の寄宿舎だった場所で開催されたため、タイムスリップしたような雰囲気でした。

この夏は、猛暑によるゲリラ豪雨や台風で、テレビから毎日のように水害のニュースが流れていたためか「白髭の洪水」の話が心にとまりました。

昔は新聞などはなく、書き留めて記録することはできて「伝える」ことは難しかったため、「民話」として語るものが災害の状況を広める手段であったと思われます。「白髭の老人が現れ、村人に「逃げろ」と叫んだ」という表現も「白髭」という言葉で、流れてくる水が徐々に増えて白くなりやがて濁流になる様子を擬人化して描いており、白くなり勢いの増す水流の段階で避難すれば命は助かると言うことを後の人に伝える手段にしても

いたのではないのでしょうか。

今回のお話は会津の民話としてお聞きしましたが、会津地方以外でも「白髭の老人」が水嵩の増した川の中を板の上に乗って渡っていたなど、表現は微妙に異なりますが、それぞれの地で甚大な被害があったことを伝え、「次の世代に少しでも難を逃れる術を身につけておくように」等の主旨を語り継いだと思われま

八重子さんの語りは、淡々と静かな口調ですが、方言混じりの響きは優しく心穏やかにしてくれます。聞く側はその話の世界に強く引き込まれていきます。これが「口伝」の持つ力なのではないでしょうか。

民話とは単なる昔語りではなく、人が生きていくための術や知恵を先人から学ぶ場であると思えます。多くの民話とともに八重子さんの持つ「語り伝える力」も継承されていくことが、これから困難な時代に必要になるのではないと思

私は今回の民話に「民話の中に記録された災害」と題してお聞き致しました。

(渡辺 御門)

第百四十四回「地元学を考える」
(二〇二四年八月二十四日開催)

「正しい歩き方」

講師 水戸章氏

いつも様々な方々の貴重なお話をお聞きし、学ばせて頂き誠にありがとうございます。いつもの地元学は、まちなか夢工房での開催となっておりますが、今回は青葉学園交流ホールでの開催となりました。中々暑い中での地元学でしたが、参加された方々が会場内を歩く必要が有りましたので良かったと思えます。

それよりも何よりも、講師の水戸章さんがアキレス腱を負傷しギブスを着用した状態で講師を務められた事に正直驚きを隠せませんでした！今までにこんな状況で講師を務められた方って：自分が知っている限りでは無いと思えます。

大丈夫なのか先生？と思いつつ見守りながら、折りがら序盤参加させて頂きました。しかしながら、怪我をもるともされず淡々と話を進められ、ポジティブな方だなあ〜と感じました。さすがに本題の歩行では、先生が直接実践説明する事は出来ませので、私の弟がサポーターを務めています。参加者が会場内で歩行を実践し、その後先生から「皆さん

正しく歩いていません」との言葉を頂き「えっ？」とは思いました。その後、先生から解説が有りまして、踵から地面に付いている状況は膝・腰に負担が掛かり痛めてしまう事、つま先を意識して歩く事が負担を少なく出来るので重要である事、まさに目から鱗でした。

しかしながら先生から、「この地元学が終わって帰る時には、殆どの方がいつも通りの歩き方をしてしまうと思います。」と告げられ、そうかもしいい…と思う自分が居ました。しかしながら、今現在、私は家の中を歩く時はこの事に注意しています。

なぜかと申しますと、今までも家庭で言われていたのですが、家族(特に父)から「前の歩く音は踵から付くから嫌い、静かに歩けねーのか」と…そして今回の地元学を受けて実践する様になりました。出来ていない時もあるかと思

いますが、この件についての苦情は減った様に感じられますので、引き続き体の事も考えつつ実践していきたいと思

います。講演終了後、水戸さんと何故アキレス腱を切ってしまったのかについて少し話をさせて頂いておりましたが、縄跳びが得意な方なんです。少し無理をしてみました様です…また次回もよろしくお願致します。そして一日も早くア

キレス腱が完治されますように、お祈り申し上げます！お疲れ様でした。(後藤一成)

渡辺さんとベアシック懇談員の後藤さんに感想文を寄稿していただきました。素敵な感想文をありがとうございました。

講座の内容は後日
YouTube で配信します



QRコードからも
動画をご覧いただけます

URL

<https://www.youtube.com/@nposhalom>
YouTubeチャンネル名【公式】NPO 法人シャローム

動画を見ながら
正しい歩き方を実践
してみよう!



教養講座 地元学を考える

第百四十六回 予告

呼吸法を学ぶ

〈講師〉八百板 敬一氏
(WHO 認定国際中醫師)

〈日時〉2024年10月12日(土)
13:30~15:00

〈場所〉まちなか夢工房 2階
〈参加費〉500円

<講演内容>

実技を習得していただきます。
その他：漢方医学のお話をいたします。各自疑問点など、ご質問をお願いいたします。

<講師紹介>

鍼灸師、柔整師、波動師。
1947年生まれ、現在本宮市にて温故堂治療院を開設。中国・国立大学北京中医药大学日本校卒業、同大学院張文選博士に内科学、免疫学を師事。国際中醫師免許取得。北京中医医院(大学病院)病院長劉赫教授に師事、植物学を清水大典先生に師事、呼吸法を肥田春充先生に師事、大自然の波動を高橋信次先生に師事。

*十月十日(木)までにお申込みください。後日、シャロームホームページよりYouTube配信いたします。

活動のご報告

2024 年 7 月 26 日～9 月 25 日

- 7 月 28 日 〈ひまわり〉ひまわり夏祭り (青葉学園)
- 7 月 30 日 夢工房〈実習受入〉第三中学校
- 8 月 9 日 福島地域福祉ネットワーク会議 出席
- 8/9、8/23、8/30 リアン 相談会・ピアカウンセリング (まちなか夢工房)
- 8 月 22 日 憩〈販売〉いきいき!ふくしマーケット (福島市役所)
- 8 月 24 日 第 244 回 地元学講座 「正しい歩き方」 水戸 章氏
- 8 月 25 日 憩〈販売〉いきいき!ふくし夏祭り (福島駅東口広場)
- 8/26~8/28 リアン〈実習受入〉ピアサポーター研修
- 8/26~8/30 夢工房〈実習受入〉野田中学校
- 8/29~8/30 夢工房・憩・楽膳〈イベント〉いきいき!ふくし EXPO (福島市)
- 9/2~9/6 夢工房〈実習受入〉第三中学校
- 9/7~9/27 リアン〈実習受入〉福島学院大学
- 9/12・9/13 夢工房〈実習受入〉福島学院大学
- 9 月 12 日 憩〈販売〉いきいき!ふくしマーケット (福島市役所)
- 9/13・9/27 リアン 相談会・ピアカウンセリング (まちなか夢工房)
- 9 月 14 日 第 245 回 地元学講座 「みんなで作るベーカリー」 斎藤 功氏
- 9 月 17 日 楽膳 「民報サロン」懇談会出席 (福島市)
- 9 月 21 日 夢工房〈イベント〉シネマの夕べ (福島駅前通り)
- 9 月 22 日 夢工房〈販売〉とっておきの音楽祭 (福島駅前)

活動予定

2024 年 9 月 26 日～10 月 25 日

- 9 月 27 日 リアン〈実習受入〉福島県立医科大学
- 10 月 5 日 リアン〈講座〉みんなの教室 第一回 (ウィズ・もともち)
- 10/7~10/18 夢工房〈実習受入〉福大附属支援学校
- 10 月 9 日 夢工房〈講師〉福祉事業所対象 SNS 活用法 楽膳〈講師〉第三小学校
- 10 月 19 日 夢工房〈販売〉視覚支援学校文化祭
- 10/6・17・23・24・30・31 夢工房〈実習受入〉福島県立医科大学
- 10/19~10/20 楽膳〈販売〉LIVE AZUMA (あづま総合運動公園)
- 10 月 20 日 夢工房〈販売〉福島学院大学文化祭



相談支援センターリアン

「みんなの教室」開催のお知らせ (家族教室)



10 月より「みんなの教室 (家族教室) ~精神障がいについて学ぼう~」を開催いたします。

病気や障がいへの理解を深める講義と、ご家族向けに日頃感じている疑問や不安について講師の先生を交えて話し合い、家族としての想いを分かちあう茶話会も開催します。前半の講義部分は、どなたでもご参加いただけます。どうぞ、お気軽にご参加ください。

◇日程 13:30~15:30 (講義: 13:30 ~ 14:30 茶話会: 14:45 ~ 15:30)

2024 年 10 月 5 日 (土)	「発達障がいについて」
2024 年 11 月 2 日 (土)	「統合失調症について」
2024 年 12 月 7 日 (土)	「地域での生活について」
2025 年 1 月 9 日 (木)	「家族の関わり方・家族の健康について」
2025 年 2 月 13 日 (木)	「福祉サービスについて」

◇会場: ウィズ・もともち 3 階 中会議室

◇資料代: 200 円

◇お申込方法: 開催日前日までに、相談支援センターリアンまでご連絡ください。

TEL 024-573-8425

(月~金/9:00~17:00)



詳細はこちら▲



5~8 月にかけて地元紙「福島民報」の「民報サロン」コーナーで文章を書く機会をいただきました。同期執筆陣 20 名の氏名・経歴も掲載されるのですが、年齢欄を眺めてびっくり。年上の方が少ない。いつの間にか自分が若手どころか中堅でもなく、ベテランと言われる年齢層になっていた現実に焦りました。(A・O)